

# キャリア教育の道しるべ

全国的に子どもたちの充実感と明日への希望をいっばいにするために12年間を見通したキャリア教育の推進が図られています。串間市教育研究所では、私たち教職員がキャリア教育をより一層理解を深めていくために、キャリア教育の手引き（文部科学省）を参考にして、本リーフレット「キャリア教育の道しるべ」を作成しました。



## ☆ キャリア教育で育む力

児童生徒一人一人のキャリア発達を促し、それぞれふさわしいキャリアを形成していくために必要な基盤となる能力や態度である4つの「基礎的・汎用的能力」を次の能力とすることにしました。

### ○ 人や社会にかかわる力 ← 人間関係形成・社会形成能力

多様な他者の考え方や立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力。

### ○ 自分を見つめる力 ← 自己理解・自己管理能力

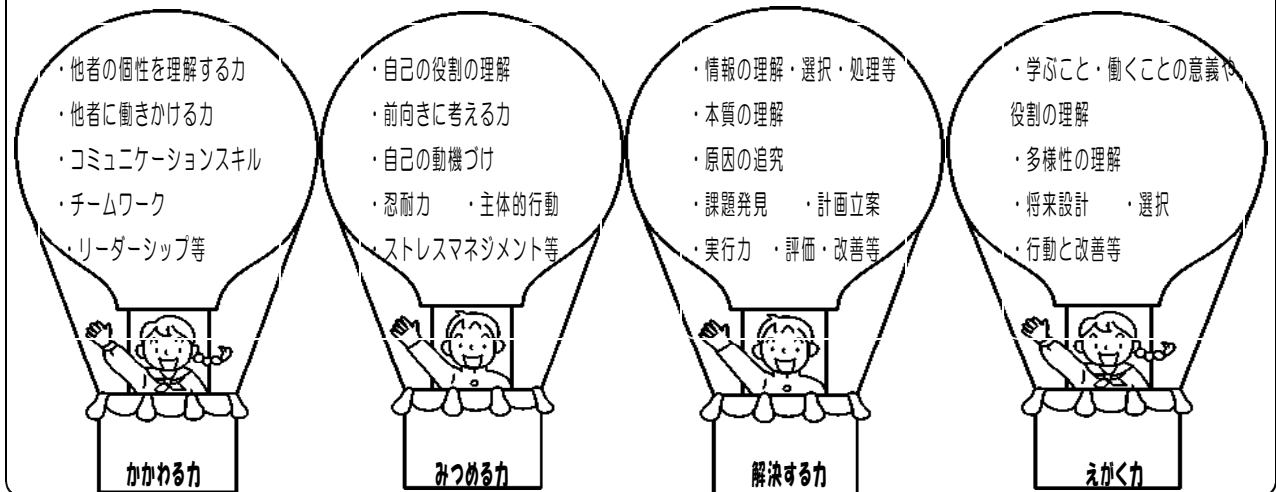
自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、今後の成長のために進んで学ぼうとする力。

### ○ 課題を解決する力 ← 課題対応能力

仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力。

### ○ 将来をえがく力 ← キャリアプランニング能力

「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力。



## ☆ キャリア教育の進め方



実際に授業を構想していくためには右のような手順で進めていきます。



(小学校低学年例)

チェックリストより「みつめる力」に課題がある児童が多いことが分かった。  
(教師、児童生徒、地域の実態)

【キャリア教育の視点】  
○自分を見つめる力を育てること  
課題  
課題が解決した目指す児童の姿を考える。  
うまくできないことでも挑戦する児童

「みつめる力」を育てるためにキャリア教育に関連させた教育活動を核となる体験活動をもとにつなげて展開していく。  
徳徳…あきらめないで(勤勉・努力)  
体育…なわとび じきゅうそう  
生活…みんなみんなだいすきだよ  
学活…いっぱいできるようになったね

つながり

○ キャリア教育を進める最初の段階に、児童生徒のキャリア教育の視点から見た課題を把握する必要があります。右に載せているアンケートは、小学校4～6年用のアンケートです。このアンケートをもとにキャリア教育ではくむ力のどれに課題があるかを把握し、授業を構想していきます。児童生徒用、教師用、保護者用などさまざまな立場からアンケート等を取り、課題を把握し実態をつかみます。

小学校1～3学年用、4～6学年用、中学校用、教師用、保護者用を作成しています。



**日常生活アンケート（4～6学年用）**

年 名前 ( )

これはテストではありません。あなたの日常生活（授業中や放課後、家庭での生活など全てを含みます）の様子を振り返って、当てはまる番号に○をつけましょう。

4…いつもしている 3…ときどきしている 2…あまりしてない 1…ほとんどしてない

①	友達や家族の話を聞くとき、その人の言いたいことや気持ちを考えながら聞こうとしていますか。	4	3	2	1
②	相手にわかりやすいように、工夫しながら自分の考えや気持ちを伝えようとしていますか。	4	3	2	1
③	自分から役割や仕事を見つけたり、分担したりしながら、友達と協力して行動しようとしていますか。	4	3	2	1
④	自分の興味や関心、長所や短所などについて考えようとしていますか。	4	3	2	1
⑤	気分がしずんでいるときや、あまりやる気がないことでも、自分がしなければいけないことに取り組みようとしていますか。	4	3	2	1
⑥	不得意なことや苦手なことでも、自分から進んで取り組みようとしていますか。	4	3	2	1
⑦	わからないことやもっと知りたいことがあるとき、自分から進んで資料や情報を集めたりだれかに質問したりしていますか。	4	3	2	1
⑧	何か問題が起きたとき、次に同じような問題が起こらないようにするために、何をすればよいか考えていますか。	4	3	2	1
⑨	何かをするとき、見通しをもって計画的に進めたり、よりよい方法を考えたりしていますか。	4	3	2	1
⑩	学ぶことや働くことの大切さを考えたり、学校で学んでいることが自分の将来に役立つことを考えたりしていますか。	4	3	2	1
⑪	自分の将来について具体的な目標を立て、その実現のための方法について考えていますか。	4	3	2	1
⑫	自分の将来の目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりしていますか。	4	3	2	1

○ 核となる体験活動は、くしま学を含む総合的な学習の時間、生活科、特別活動など豊かな体験活動を繰り返し行える教科等から設定し、キャリア教育の視点にたって授業を構想していくことが大切です。串間市では、全小中学校でくしま学において共通単元を学習しています。その豊かな体験活動をもとに授業を組み立てていくと、児童・生徒にとって系統的・発展的な学習になっていくと考えられます。

